



薄い文字をゆっくりなぞりましょう

秋は悲しき

声聞く時ぞ

鳴く鹿の

紅葉踏み分け

奥山に

作者： 猿丸大夫

年代： 奈良～平安時代

出典：『古今和歌集』

意味

山奥で紅葉を踏み分けながら鳴く鹿の声を聞き、
秋の寂しさを感じている、という歌です。

